

Ⅲ事業の実績報告

(平成30年度)

1 地域リハビリテーション推進強化事業

地域リハビリテーションの基本理念である「障害のある人も高齢者も、地域で自分らしい生活を安心して送ることができる社会」の実現のため、県内の地域リハビリテーション支援体制を推進し、さらに、平成25年度からは障害児者に対する支援の充実を図ってきました。

(1) 推進体制整備事業

① 県内関係機関・団体とのネットワーク推進

イ 地域リハビリテーション推進強化事業に係る関係団体との連携

開催月日	内 容	参集者
H30. 6. 4 H30. 9. 12	リハビリテーション専門職協会との意見交換会の開催 (全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ 2018 実行委員会) 参加者状況報告、当日運営について 実施報告、会計報告等	実行委員 10人 (理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 各5人)
H31. 2. 17	JRAT MIYAGI 研修会への協力	JRAT MIYAGI 20人
H30. 10. 14	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事会への出席 東北摂食嚥下リハビリテーション研究会等について	医師・歯科医師等 17人
H30. 12. 20	宮城県難病相談支援センター主催講演会への協力	難病患者・家族等 23人

ロ 関連する会議・研修会等への参加

開催月日	会議・研修名	主催
H31. 2. 5 H30. 9. 4 H31. 2. 12	宮城県リハビリテーション協議会 宮城県障害者自立支援協議会	障害福祉課
H30. 4. 16 H30. 8. 27	宮城県障害者自立支援協議会行政部会	
H30. 6. 5 H30. 11. 20	宮城県障害者自立支援協議会子ども部会	
H30. 10. 16	保育所等訪問支援事業所情報交換会議	
H31. 2. 5	宮城県障害者相談支援従事者スキルアップ研修	
H31. 2. 25～ 26	医療的ケア児等支援者研修会	

ハ 関係各課実施事業への協力

開催月日	協力内容	主催	参加者
H30. 12. 4	児童相談所職員研修の講師	中央児童相談所	職員 24人
H30. 8. 6	重度・重複障害教育研修会の講師	総合教育センター	教員 16人
年 5回	言語相談	北部児童相談所	対象児 8人

② 地域リハビリテーション事業担当者会議

開催月日	内 容	参 集 者
H30. 5. 24	地域リハビリテーション推進強化事業に係る平成 29 年度実績及び平成 30 年度事業計画について 等	保健福祉事務所地域リハ事業担当 班長・担当者, 障害福祉課在宅支 援班担当班長・担当者 35 人

ほか、書面照会による意見収集 1 回

③ 保健福祉事務所支援（8回）

依頼事務所名	事 業 名 内 容 等	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	自立支援を考えるセミナー 角田丸森ケアマネジャー連絡会合同研修会 介護予防のための自立支援型地域ケア会議に関する蔵王町 介護保険事業所職員研修会 障害者ケア向上研修会 ー上記研修会のグループファシリテーター等の協力 介護予防ソフト作成支援	5	PT5 OT2
北部保健福祉事務所	心身障害児等発達支援事業のことばの相談協力	1	ST 1
北部保健福祉事務所 栗原地域事務所	〃	1	ST 1
気仙沼保健福祉事務所	〃	1	ST 1

④ 全県の課題解決に向けた取組

イ 専門職確保対策事業

開催月日	内 容	参加者	内 訳
H30. 12. 25	医療・福祉の職場見学 気仙沼ツアー	リハ養成校学生 11 人	病院 2 施設 老人保健施設 1 施設
H30. 12. 27	医療・福祉の職場見学 登米ツアー	リハ養成校学生 7 人	老人保健施設 2 施設

ロ 専門職人材育成事業（新任期）

開催月日	内 容	参加者
H30. 9. 1 H30. 12. 1	①地域での暮らしを支える障害福祉の制度 ②宮城県の地域リハビリテーションについて ③地域におけるリハビリテーション専門職に求められる役割に ついて ④先輩リハ職の実践 ⑤グループディスカッションによる地域の事例の検討	県内医療機関・施設等の 経験年数概ね 3 年未満の リハ専門職 実 16 人 延べ 30 人

ハ 専門職人材育成事業（中堅・管理期）

開催月日	内 容	参加者
H30. 9. 1 H30. 12. 1	①中堅職員・管理期職員が果たすべき役割について ②円滑（適切）に仕事をするために必要なコミュニケーションのスキルについて ③後輩の育成・指導に重要な視点について ④前期研修の振り返り ⑤これからの中堅・管理期の役割	県内医療機関・施設等の 経験年数概ね5年～10年 のリハ専門職（リハ部門 の責任者等） 実 22人 延べ40人

ニ リハビリテーション専門職従事状況調査等

調査内容	件数
宮城県内のリハビリテーション関係診療報酬基準取得状況調べ	1
病院・診療所、介護サービス施設・事業所におけるリハビリテーション専門職の従事状況調べ	1
リハビリテーション専門職養成課程の卒業生の就職状況等に関する調査	1

ホ 障害の理解・普及啓発促進研修

開催月日	研修会名	内 容	参加者
H31. 1. 22	学びカフェ 「cafe Spinning」	福祉用具のあれこれ ①日常生活用具制度・補装具支給制度説明 ②重度コミュニケーション障害、視覚障害、聴覚障害におけるコミュニケーション機器の説明及び体験	登米市内住民 22人

ヘ 摂食嚥下地域リハビリテーション推進事業

事業名	内容
平成 30 年度病院における摂食嚥下障害対応状況調査	県内全病院（139 施設）を対象に、一般診療所で実施が難しい嚥下造影検査や治療（専門的訓練、手術）等の対応状況について調査し、検査等に対応できる 39 施設をホームページ上で公開
平成 30 年度摂食嚥下障害対応支援事業	仙南管内の特別養護老人ホーム 1 ヶ所を対象に、入所者に対する「食支援」の技術向上に向け支援 全 5 回 症例検討会、研修会等

ト 指定障害者支援施設の高齢化・重度化対策支援事業

事業名	内容
施設支援事業	仙台圏域の障害者支援施設 1 ヶ所を対象に、施設が課題と感じている「日中活動」について、解決に向けた取組を支援 全 8 回 グループワーク、他施設との情報交換会等
フォローアップ支援事業	H27～29 年度に支援した 5 施設を対象に、フォローアップ支援を実施 全 12 回 グループワーク等
取組報告会	障害者支援スタッフ研修会（栗原圏域取組報告会） （栗原地域事務所主催 共同企画） 1 回 31 人参加

チ 福祉用具セミナー

開催月日	研修会名	内 容	参加者
H30. 11. 2	障害者の自立生活を支える福祉用具	(講話) ・補装具費支給制度, 日常生活用具給付等事業の概要 ・聴覚障害者の自立生活を支える福祉用具 ・視覚障害者の自立生活を支える福祉用具 ・下肢・体幹機能障害者の自立生活を支える福祉用具 (機器体験・情報交換・意見交換)	県内の保健医療福祉関係者, 行政関係者, 等 42人

⑤ 地域リハビリテーション事業担当職員研修

開催月日	内 容	参加者
H31. 1. 8	・コミュニケーション支援の流れ及びリハビリテーション支援センターの役割 ・事例紹介 ・機器操作体験	29人

(2) 専門的・技術的支援事業

市町村等が実施する保健福祉に関する事業について, 保健福祉事務所からの依頼に基づき, 専門的な指導・助言や専門スタッフを派遣し, また, 保健福祉事務所が必要とする簡易な福祉用具等の製作支援やリハビリテーション関連物品の貸出を行いました。

① 市町村等事業支援 (36回)

保健福祉事務所等名	内 容 等	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	児童発達支援事業所の研修会講師 講話「言葉を促す遊びや活動について」 障害者支援施設支援の研修会講師 講話「食事支援」について 等	5	PT3, ST4
仙台保健福祉事務所	児童発達支援事業所職員研修講師 講話「摂食前後の口腔の準備と脱感作, 誤嚥対策」	1	ST 1
東部保健福祉事務所 登米地域事務所	家族支援者向けセミナー講師 講話「ことばの基礎から学ぼう～言葉を話すまでのプロセスから」 就労支援センター研修会の講師 講話「福祉用具のあれこれ」	2	OT1, ST 1
東部保健福祉事務所	児童発達支援事業所の療育研修会講師 講話「こどものことばの発達とその支援」	1	ST1
気仙沼保健福祉事務所	障害者支援施設の研修会講師 講話「食べるの基礎知識」 講話「食事チェックシートについて」 グループワーク	2	ST2
長寿社会政策課	地域包括ケア推進協議会 会議等出席 介護職員勤務環境改善支援事業 施設ヒアリング協力等 ロボット等介護機器導入支援事業 審査会等出席 介護予防活動普及展開事業 研修会出席等	24	PT34, 事務2
大崎栄養サポート研究会	研修会講師 講話「脳から見る嚥下障害」	1	Dr1

② リハビリテーション相談（6件）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
北部保健福祉事務所	言語機能の評価・自主訓練の助言 義肢装着に係る情報提供等	2	Dr1, ST1
北部保健福祉事務所 栗原地域事務所	言語機能・食事動作の評価, 助言	1	ST1
東部保健福祉事務所 登米地域事務所	コミュニケーション機器支援	2	ST2
気仙沼保健福祉事務所	言語機能の評価・自主訓練指導	1	ST1

電話相談 25件 (PT11, OT4, ST10)

③ ALS患者等に対するコミュニケーション支援

イ コミュニケーション相談（9件）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	コミュニケーション機器のスイッチ検討 等	3	PT2, ST1
北部保健福祉事務所	視線入力マイトビーの試用, 言語機能評価 病院でのコミュニケーション機器に係る研修講師協力	3	PT3, ST1
北部保健福祉事務所 栗原地域事務所	コミュニケーション機器検討	2	ST2
東部保健福祉事務所	コミュニケーション機器導入検討	1	OT1

電話相談 24件 (PT2, OT8, ST14)

ロ ALS患者等支援に関する研修会

開催月日	研修会名	概要	参集者
H30.7.19	伝の心講習会	「伝の心」の新しい機能, 視線入力について	リハビリテーション支援センター職員 10人
H31.3.1	コミュニケーション研修 (齋藤病院)	1) 宮城県における重度障害者等のコミュニケーション支援体制について 2) 重度障害者用意思伝達装置「伝の心」の操作, スイッチャーの調整	石巻圏域医療機関等職員 61人

ハ ALS等難病患者へのコミュニケーション支援に係る情報交換会

開催月日	内容等	参集者
H31.1.8	1) ALS等難病患者へのコミュニケーション支援方針について 2) コミュニケーション支援の現状と課題について 3) 意見交換	宮城県介護研修センター, みやぎ障害者ITサポートセンター, 難病医療連携センター, 保健福祉事務所疾病対策班保健師, 地域リハ担当者, 障害福祉課, 疾病感染症対策室 33人

④ 福祉用具等支援

保健福祉事務所が支援に必要な関連物品の貸出・整備、簡易な福祉用具の製作に係る技術支援を行いました。また、機器や運転支援に係る相談等に応じました。

イ 関連物品貸出状況

〈貸出物品数 延べ194件〉

種別	コミュニケーション支援関係									その他	
	重度障害者用 意思伝達装置	固定台	入力装置 固定台	呼び鈴	呼び鈴 分岐装置	入力スイ ッチ	遠隔制御 装置	音声補助 装置	その他	車いす等	その他の 福祉用具
計	22	17	13	9	4	67	2	1	18	1	40

〈貸出先〉

機関	保健福祉事務所							仙台市	医療機関	訪問看護ス テーション	その他
	仙南	仙台	北部	栗原	登米	東部	気仙沼				
回数	4	17	5	0	2	3	8	0	7	3	3
物品数	8	59	28	0	12	7	50	0	16	9	5

ロ 福祉用具の製作・改造等技術支援

保健福祉事務所名	支援内容
北部保健福祉事務所	透明文字盤 ほか (圏域事業所提供用)
所内	輪ゴム通し (外来ケースの作業用に試作)

ハ 展示見学者対応

種別	件数	内容
見学	21件	<ul style="list-style-type: none"> 行政機関等 (6人) の見学 コミュニケーション機器、福祉用具等試用の相談を含む見学 (30人) 看護学生等講義を含む見学 (18人)

ニ 運転相談

種別	件数	内容
来所相談	4件	<ul style="list-style-type: none"> 腰痛症、ギランバレー症候群等の方の運転補操作方法、免許取得の相談 (5人) 介護タクシー開業の相談 等
見学	2件	医療機関支援関係者等 (7人)
電話相談	4件	<ul style="list-style-type: none"> 運転再開の流れに係る問合せ、自動車改造に係る業者の問合せ 自動車教習所の情報の問合せ 等

(3) 調査・研究事業

平成 29 年度から「障害福祉領域で働くリハビリテーション専門職の活動」をテーマに、サービス種別に調査を実施しています。今後は、さらに調査、調査結果の分析を行う予定です。

プログラム・ツール等作成については、道路交通法等の改訂があったことから、「障害のある方のくるまの運転総合ガイドブック 2」の見直しのため、各種調査及び関係機関との情報交換を行い、「障害のある方のくるまの運転総合ガイドブック 3」を作成しました。

① 調査・研究

テーマ	内 容	結果概要
障害福祉領域リハビリテーション専門職の活動に関する調査	平成 29 年度に実施した「生活介護」事業所調査をとりまとめ、関係機関に送付	対象：149 事業所 回答：96 事業所（回収率 64.4%） リハ職雇用：20 事業所 ・事業所がリハ職に期待することは、機能訓練、他職種に対する助言等など ・勤務するリハ職 22 人（16 事業所）の業務は、対象者のアセスメント・機能訓練の対応が多く、事業所から求められていると感じる業務は、各種会議企画や行事实施企画など多岐にわたっていた。 求める支援は、関係機関との情報交換や研修会の実施であった。
障害福祉領域リハビリテーション専門職の活動に関する調査	「児童発達支援」事業所に対して、リハ専門職種の雇用状況およびリハ専門職種の活動状況に関する調査票の送付・回収	対象：児童発達支援事業所 72 カ所 調査期間：平成 30 年 12 月～3 月 回収率：65%（50 事業所から回答） 回答のあった事業所中、18 事業所がリハ専門職を雇用し、利用者や家族に対する支援を中心に活動していた。他 17 事業所は何らかの形でリハ専門職との関わりがあるとの回答があった。

② プログラム・ツール等作成

タイトル	内 容
障害のある方のくるまの運転総合ガイドブック 3	<p>①平成 26 年 4 月発行のガイドブック 2 の改訂</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 障害のある方の自動車運転 2) 自動車運転補助装置と福祉車両 3) 障害者の運転に関する法律・制度 4) 宮城県リハビリテーション支援センターの取り組み <p>(資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転補助装置一覧 ・宮城県内指定自動車教習所一覧 ・宮城県内各市町村における助成制度実施一覧 <p>②ガイドブック改訂に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村 35 カ所に対する運転免許取得費助成、障害者用自動車改造費助成事業等の状況調査 ・指定自動車教習所 35 カ所に対する運転補助装置の配備状況等調査 ・医療機関（119 ヶ所）に対する自動車運転の支援に関する調査 ・障害者等の自動車運転支援に関する情報交換会の開催 <p>参集者：運転免許課、自動車教習所協会、指定自動車教習所、医療機関、作業療法士会等 出席者 13 人</p> <p>内 容：1) 障害者等の自動車運転支援に関する各種調査と「障害のある方のくるまの運転総合ガイドブック 2」の改訂について 2) 自動車運転支援に関する取組状況と課題について 3) 情報交換</p>

(4) 全国地域リハビリテーション合同研修大会

全国地域リハビリテーション合同研修大会は、全国地域リハビリテーション研究会及び全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会が主催し、毎年全国各地で開催しています。

平成30年度は、宮城県内の多機関・多職種が協働で行っている地域包括ケアシステムの推進や、障害児・者に係る教育、自立支援や社会参加支援など様々な立場の取組を共有することにより、宮城県内及び全国の地域リハビリテーションのさらなる推進につなげることを目的に、当所が事務局を担い、「全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ2018」を開催しました。

主催	全国地域リハビリテーション研究会 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会
共催	宮城県 宮城県リハビリテーション専門職協会
後援	宮城県医師会ほか 21 団体
大会運営	全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ実行委員会
大会テーマ	「そこに暮す人々と共に育む地域リハビリテーション」 ～地域共生社会を目指して・みやぎからの発信～
日時	平成30年7月7日～7月8日 2日間
会場	東北歴史博物館（宮城県多賀城市高崎 1-22-1）
参加者数	実人数 200 人 延べ人数 360 人 （一般公開講座参加 32 人）
プログラム ・講師	<p>7月7日</p> <p>特別講演Ⅰ「宮城の地域リハビリテーションの歩みを振り返り、これからを考える」 講師：佐直信彦（仙台青葉学院短期大学 副学長 教授） 座長：出江紳一（東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野教授）</p> <p>シンポジウムⅠ「震災復興支援から地域包括ケアへの展開ー地域づくり・まちづくりー」 座長：渡邊好孝（宮城県リハビリテーション専門職協会会長） 講師：成田徳雄（気仙沼市立病院），伊勢弘幸（宮城県保健福祉部障害福祉課） 小野剛広（医療法人医徳会真壁病院），三浦ひとみ（女川町役場）</p> <p>7月8日</p> <p>シンポジウムⅡ「介護予防事業の取組とリハ専門職の役割」 座長：柳尚夫（兵庫県但馬県民局豊岡健康福祉事務所長） 大塚英樹（医療法人社団東北福祉会せんだんの丘ふらすあらい） 講師：佐藤利（もみの木ダンベルサークルサポーター），伊藤真紀（大崎市民生部健康推進課）芝崎淳（社会医療法人将道会総合南東北病院）</p> <p>シンポジウムⅢ「障害者の自立支援を支えている医療機関の取組」 座長：瀬田拓（みやぎ県南中核病院 リハビリテーション科医師） 講師：中川大介（医療法人社団脳健会仙台リハビリテーション病院） 田中総一郎（医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台） 神将文（一般財団法人広南病院） 西嶋一智（宮城県リハビリテーション支援センター）</p> <p>（一般公開講座）</p> <p>特別講演Ⅱ「高齢者主体の地域包括ケアシステムから障害児・者を含めた発展へ」 講師：吉永勝訓（千葉県千葉リハビリテーションセンター長） 座長：櫻本修（全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ2018 大会長）</p> <p>（宮城県主催 地域リハビリテーションスタッフ研修会）</p> <p>シンポジウムⅣ「地域共生社会の実現に向けた障害児・者支援」 座長：阿部一彦（東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授） 講師：三科聡子（国立大学法人宮城教育大学特別支援教育講座） 高橋繁夫（認定NPO法人さわおとの森） 姉齒純子（医療法人財団姉齒松風会なごみの里サポートセンター） 笠松剛士（社会福祉法人白石陽光園）</p>

2 身体障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の身体障害者に対し、身体障害者手帳の交付を行うとともに、身体障害者の福祉の推進を図るため、補装具の支給に当たっての判定・相談や障害の程度を軽減する医療（自立支援医療）の要否判定等を行い、身体障害者の日常生活能力の回復・向上を目指し、社会参加活動の促進を支援しました。また、身体障害者福祉に携わる関係者に対して研修会等を開催するなど技術的な支援を行いました。

(1) 身体障害者手帳の交付等

① 身体障害者手帳交付処理件数調（平成30年度）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	239	289	233	279	271	239	291	209	298	235	239	187	3,009
再交付	134	149	157	111	153	142	196	115	133	118	105	110	1,623
計	373	438	390	390	424	381	487	324	431	353	344	297	4,632

② 身体障害者障害別・程度別一覧

(単位：人)

障害別 等級	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語 ・そしゃく 機能	肢体不自由	内部障害	計
1級	998	45	20	4,296	10,159	15,518
2級	940	1,085	59	4,921	191	7,196
3級	205	493	337	4,432	2,593	8,060
4級	242	858	182	6,247	3,546	11,075
5級	358	24		3,636		4,018
6級	238	1,188		1,424		2,850
計	2,981	3,693	598	24,956	16,489	48,717
構成比	6.1%	7.6%	1.2%	51.2%	33.9%	100.0%

(平成31年3月31日現在、仙台市を除く)

③ 身体障害者手帳交付状況・所持件数の推移

(単位：所持者数)

障害別 年度	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部障害	計
26	3,230	3,881	612	27,012	15,870	50,605
27	3,145	3,819	607	26,609	15,965	50,145
28	3,047	3,755	613	26,204	16,194	49,813
29	2,989	3,725	603	25,487	16,292	49,096
30	2,981	3,693	598	24,956	16,489	48,717

(参考) 仙台市

30	2,189	2,476	441	16,346	10,922	32,374
----	-------	-------	-----	--------	--------	--------

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にあるほうに計上している。

④ 障害等級別身体障害者手帳所持者

(単位：所持者数)

障害名	級	県	仙台市	合計	障害名	級	県	仙台市	合計
視覚障害	1	998	714	1,712	心臓機能障害	1	6,791	4,518	11,309
	2	940	744	1,684		2	58	29	87
	3	205	104	309		3	1,272	784	2,056
	4	242	179	421		4	978	588	1,566
	5	358	356	714		計	9,099	5,919	15,018
	6	238	92	330	1	3,066	2,213	5,279	
計	2,981	2,189	5,170	2	29	27	56		
聴覚障害	1	45	47	92	3	552	279	831	
	2	1,079	746	1,825	4	27	13	40	
	3	481	231	712	計	3,674	2,532	6,206	
	4	856	609	1,465	1	225	89	314	
	5	11	1	12	2	29	17	46	
	6	1,188	819	2,007	3	622	439	1,061	
計	3,660	2,453	6,113	4	167	113	280		
平衡機能障害	1	0	0	0	計	1,043	658	1,701	
	2	6	0	6	1	19	10	29	
	3	12	7	19	2	16	7	23	
	4	2	0	2	3	112	89	201	
	5	13	16	29	4	2,328	1,473	3,801	
	計	33	23	56	計	2,475	1,579	4,054	
機能障害 そしゃく 音声言語	1	20	30	50	機能障害 直腸 ぼうこう	1	9	16	25
	2	59	27	86		2	4	3	7
	3	337	232	569		3	13	7	20
	4	182	152	334		4	32	4	36
	計	598	441	1,039		計	58	30	88
肢体不自由	1	4,296	3,237	7,533	小腸機能障害	1	5	15	20
	2	4,921	3,288	8,209		2	33	76	109
	3	4,432	2,826	7,258		3	12	35	47
	4	6,247	4,067	10,314		4	6	12	18
	5	3,636	2,112	5,748		計	56	138	194
	6	1,424	816	2,240	免疫機能障害	1	44	47	91
	計	24,956	16,346	41,302		2	22	15	37
※重複障害は重い方に計上				合計		3	10	2	12
						4	8	2	12
					計	84	66	152	
					合計	48,717	32,374	81,091	

(2) 補装具の処方及び適合判定

① 判定・相談依頼の状況（市町村別）

(単位：件)

	来所相談				巡回相談	合計			
	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体不自由	肢体 不自由	聴覚	視覚	計
石巻市	12	59	0	71	62	74	59	0	133
塩竈市	22	14	0	36	3	25	14	0	39
気仙沼市	7	9	0	16	40	47	9	0	56
白石市	4	10	0	14	11	15	10	0	25
名取市	40	14	0	54	5	45	14	0	59
角田市	6	3	0	9	9	15	3	0	18
多賀城市	26	9	0	35	3	29	9	0	38
岩沼市	21	13	0	34	6	27	13	0	40
登米市	4	16	0	20	42	46	16	0	62
栗原市	5	20	0	25	44	49	20	0	69
東松島市	2	14	0	16	15	17	14	0	31
大崎市	10	29	0	39	59	69	29	0	98
富谷市	12	10	0	22	7	19	10	0	29
蔵王町	7	4	0	11	1	8	4	0	12
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	8	4	0	12	1	9	4	0	13
村田町	6	4	0	10	0	6	4	0	10
柴田町	22	8	0	30	2	24	8	0	32
川崎町	2	2	0	4	0	2	2	0	4
丸森町	6	7	0	13	8	14	7	0	21
亘理町	21	9	0	30	3	24	9	0	33
山元町	5	2	0	7	1	6	2	0	8
松島町	4	4	0	8	6	10	4	0	14
七ヶ浜町	3	3	0	6	3	6	3	0	9
利府町	9	5	0	14	5	14	5	0	19
大和町	9	2	0	11	8	17	2	0	19
大郷町	3	1	0	4	4	7	1	0	8
大衡村	4	1	0	5	1	5	1	0	6
色麻町	0	2	0	2	2	2	2	0	4
加美町	4	8	0	12	8	12	8	0	20
涌谷町	0	4	0	4	15	15	4	0	19
美里町	0	7	0	7	13	13	7	0	20
女川町	1	1	0	2	4	5	1	0	6
南三陸町	1	3	0	4	5	6	3	0	9
県外	0	0	0	0	4	4	0	0	4
合計	286	301	0	587	400	686	301	0	987

※判定依頼書・相談依頼書受理件数

② 判定・相談の実施状況（市町村別）

（単位：件）

	所内相談						巡回相談			合計			
	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由			肢体不自由	聴覚	視覚	計
	来所	文書	計				巡回	在宅	計				
石巻市	32	6	38	59	0	97	94	25	119	157	59	0	216
塩竈市	18	22	40	14	0	54	6	2	8	48	14	0	62
気仙沼市	10	1	11	9	0	20	65	5	70	81	9	0	90
白石市	12	1	13	10	0	23	18	1	19	32	10	0	42
名取市	97	0	97	14	0	111	2	11	13	110	14	0	124
角田市	12	2	14	3	0	17	12	4	16	30	3	0	33
多賀城市	45	14	59	9	0	68	0	6	6	65	9	0	74
岩沼市	43	1	44	13	0	57	2	9	11	55	13	0	68
登米市	12	0	12	16	0	28	64	10	74	86	16	0	102
栗原市	13	1	14	20	0	34	82	3	85	99	20	0	119
東松島市	8	0	8	14	0	22	26	5	31	39	14	0	53
大崎市	24	2	26	29	0	55	102	15	117	143	29	0	172
富谷市	21	1	22	10	0	32	3	12	15	37	10	0	47
蔵王町	15	1	16	4	0	20	2	0	2	18	4	0	22
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	13	2	15	4	0	19	3	1	4	19	4	0	23
村田町	12	0	12	4	0	16	1	0	1	13	4	0	17
柴田町	34	12	46	8	0	54	1	3	4	50	8	0	58
川崎町	7	0	7	2	0	9	0	0	0	7	2	0	9
丸森町	14	4	18	7	0	25	10	6	16	34	7	0	41
亘理町	38	0	38	9	0	47	0	8	8	46	9	0	55
山元町	9	0	9	2	0	11	0	2	2	11	2	0	13
松島町	5	4	9	4	0	13	6	1	7	16	4	0	20
七ヶ浜町	3	3	6	3	0	9	1	6	7	13	3	0	16
利府町	11	5	16	5	0	21	7	2	9	25	5	0	30
大和町	13	3	16	2	0	18	3	12	15	31	2	0	33
大郷町	3	2	5	1	0	6	9	2	11	16	1	0	17
大衡村	8	0	8	1	0	9	0	1	1	9	1	0	10
色麻町	0	0	0	2	0	2	4	0	4	4	2	0	6
加美町	3	3	6	8	0	14	16	0	16	22	8	0	30
涌谷町	2	0	2	4	0	6	26	1	27	29	4	0	33
美里町	2	0	2	7	0	9	25	3	28	30	7	0	37
女川町	2	0	2	1	0	3	12	2	14	16	1	0	17
南三陸町	3	0	3	3	0	6	10	0	10	13	3	0	16
県外	1	0	1	0	0	1	4	2	6	7	0	0	7
合計	545	90	635	301	0	936	616	160	776	1,411	301	0	1,712

※判定（適合判定・仮合せを含む）、相談の実施件数。

③ 補装具判定結果の状況（種目別・年度別）

（単位：個）

年 度	義 手	義 足	下肢装具				靴 型 装 具	体 幹 装 具	上 肢 装 具	義 眼	眼 鏡	補 聴 器	電 動 車 椅 子	車椅子			歩 行 器	座 位 保 持 装 置	意 思 伝 達 装 置	そ の 他	計
			長 下 肢 装 具	短 下 肢 装 具	膝 装 具	そ の 他								自 走 式	介 助 用	そ の 他					
26	22	82	15	250	6	40	34	5	2	0	0	339	31	111	62	0	3	26	8	8	1,045
27	16	95	5	324	9	26	46	2	2	0	0	332	21	97	54	2	4	23	11	3	1,072
28	16	77	20	294	10	22	39	3	1	0	0	349	40	99	69	1	2	26	28	5	1,101
29	15	80	14	301	12	61	25	2	9	0	0	298	33	111	67	0	5	29	23	9	1,094
30	19	71	7	319	9	25	38	2	4	0	0	316	41	127	55	0	2	22	20	6	1,083

④ 特例補装具判定状況

種 別	名 称	判 定 件 数	判 定 結 果	
			適	否
歩 行 器	四輪型（腰掛なし） 抑速ブレーキ付	1	1	0
計	1	1	0	0

⑤ 難病に伴う補装具判定状況

判 定 件 数	手 帳 あ り	手 帳 な し	病 名	件 数	補 装 具 種 目	件 数
			筋ジストロフィー	13	意思伝達装置	15
			脊髄小脳変性症	3	短下肢装具	9
			多発性硬化症	3	上肢装具	1
			HTLV-1 関連脊髄症	2	その他	4
			シャルコー・マリー・ トゥース病	2		
			パーキンソン病	2		
			黄色靭帯骨化症	2		
			その他	7		

※補装具の合計は判定件数と一致しない場合がある。

(3) 自立支援医療（更生医療）の要否判定及び医療機関の指定

判定の実施状況（市町村別・障害別）

(単位：件)

	腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計		腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計
	石巻市	149	1	0	0	2	4	0	0	0		156	丸森町	6	0	0	0	2	0	0	0
塩竈市	42	5	0	0	1	8	0	0	0	56	亘理町	14	1	0	0	0	4	0	0	0	19
気仙沼市	72	0	2	0	1	0	0	0	0	75	山元町	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7
白石市	19	0	1	0	1	1	0	0	0	22	松島町	20	0	0	0	0	1	0	0	0	21
名取市	37	0	0	0	5	16	0	0	0	58	七ヶ浜町	1	3	0	0	1	0	0	0	0	5
角田市	15	0	0	0	0	4	0	0	0	19	利府町	14	3	0	0	2	1	0	0	0	20
多賀城市	21	3	0	0	5	3	0	0	0	32	大和町	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
岩沼市	27	0	1	0	7	7	0	0	0	42	大郷町	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
登米市	43	1	0	0	1	3	0	0	0	48	大衡村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栗原市	55	0	0	0	1	3	0	0	0	59	色麻町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
東松島市	37	0	0	0	4	2	0	0	0	43	加美町	16	0	0	0	0	1	1	0	0	18
大崎市	95	1	2	0	7	8	0	0	0	113	涌谷町	32	1	0	0	0	1	0	0	0	34
富谷市	11	0	1	0	0	2	0	0	0	14	美里町	35	0	0	0	0	2	0	0	0	37
蔵王町	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	女川町	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	南三陸町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
大河原町	10	0	0	0	0	3	0	0	0	13											
村田町	9	1	0	0	3	3	0	0	0	16											
柴田町	13	0	0	0	4	1	0	0	0	18											
川崎町	9	0	0	0	1	2	0	0	0	12	計	854	21	7	0	48	87	1	0	0	1,018

医療機関指定等処理状況

(単位：件)

	病院	薬局	訪問看護
新規	2	25	1
廃止	2	16	0
変更	5	80	1
更新	37	100	0
満了	0	6	0

(4) 地域リハビリテーション推進事業

① 身体障害者地域リハビリテーション相談事業

地域における身体障害者のリハビリテーションの充実強化を目的に、保健、医療、福祉等の各関係機関との連携を図りながら、補装具判定等で相談会場に来所困難な重度身体障害者、又は在宅で相談・指導を行う方がより効果的と思われる対象者に対して、在宅訪問を関係機関の担当職員との協力のもとに実施しました。

② 補装具適正化事業

福祉用具等関係職員研修会・補装具関係職員研修会を当センターで開催しました。

補装具判定業務に関しては、外部からの委員も参加して開催する補装具判定審査会（1回）、所内の職員で構成する補装具判定検討委員会（4回）を開催しました。

補装具判定審査会では、特例補装具の判定状況と難病患者等に対する補装具の取扱いなどについて、補装具判定検討委員会では判定困難事例や内規の改正などについて協議を行いました。

イ 補装具適正化研修

研修名	実施年月日	会場	研修対象者	参加者数	研修内容
福祉用具等関係職員研修会	H30.11.2	作業療法室	・市町村職員	29人	「補装具支給制度における借受けについて」 「補装具借受けの現状と借受け費支給事務の流れ」 「福祉用具の体験・説明」
補装具適正化研修 (補装具製作者研修会)	H31.2.22	作業療法室	・補装具製作者等	23人	「補装具支給制度における借受けについて」 「宮城県における補装具借受けの現状」 「補装具借受け費算定の実際」

ロ 補装具判定審査会

年月日	内容
H31.3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度特例補装具判定状況について ・事例紹介 住環境および使用状況から電動車椅子を処方した事例 スーパーリアルカラーハンドを検討した事例 下肢装具完成用部品の借受けを勧めた事例

ハ 補装具判定検討委員会（所内）

年月日	内 容
H30. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補装具関連業務の今年度の体制について ・ 補装具判定審査会外部委員について ・ 車椅子及び座位保持装置における『テーブル』の必要性について ・ 補装具の種目名称別コード入力について ・ 補装具借受けに向けての心構え－更生相談所からの発信－
H30. 10. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補装具フォローアップ事業の進捗について ・ 完成用部品型装具の処方について ・ 意思伝達装置申請時の業者選定・連絡などの調整について
H30. 12. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 31 年度の所内・巡回相談について ・ 業者向けアンケート実施について ・ 靴型装具の健足に対する加工算定の是非について ・ オルトトップ AFO LH の処方について
H31. 2. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度 補装具製作者研修会について ・ 平成 30 年度 補装具判定審査会について ・ 視線入力を検討している事例について ・ 靴型装具の健足に対する加工算定の是非について 2 ・ 適合確認の結果修理処方となる際の手順について

③ 障害者支援施設利用者相談事業

補装具を使用している障害者支援施設等の利用者に対して、補装具使用状況の確認や使用環境の評価、また、職員に対して補装具の装着や使用方法を指導する等の支援を行っています。

平成 30 年度は補装具判定（仮合わせ・適合判定を含む）を施設で行った 67 回のうち、9 回について、使用状況、使用環境の確認を行い、適切な補装具の支給につなげました。

④ 身体障害者福祉担当職員等研修会

研 修 名	実 施 年月日	会 場	研修対象者	参 加 者 数	研 修 内 容
身体障害者福祉 担当職員研修会	H30. 4. 20	総合教育センター 第 1 研修室	・ 市町村身体障害者 福祉担当職員	60 人	「補装具支給制度における借受け導入に 向けて」 「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の基礎知識」 「補装具の判定について」 等

⑤ 地域リハビリテーションスタッフ研修会

障害者に対し、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいる専門技術職を対象に研修会を開催し、ネットワークづくりを図っています。

日 時：平成30年7月8日（日）午後2時40分から午後4時まで

（全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ 2018 で実施）

テーマ：地域共生社会の実現に向けた障害児・者支援

内 容：シンポジウム

座長：阿部一彦氏（東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授）

講師：三科聡子氏（国立大学法人宮城教育大学特別支援教育講座）

高橋繁夫氏（認定NPO 法人さわおとの森）

姉齒純子氏（医療法人財団姉齒松風会なごみの里サポートセンター）

笠松剛士氏（社会福祉法人白石陽光園）

参加者：32人（ほか合同研修大会参加者 200人）